

元気確認ウォーキング⑫金目川の清流と黄金色の稲穂、富士の遠望

日時：2021年10月12日（火） 天候：曇 歩数：1万7000歩 12km

集合：花菜ガーデン駐輪場 10時00分

コース：花菜ガーデン→金目観音→金目川富士景観狸久保→土屋橋→金目親水公園→吾妻橋→あさつゆ広場

参加者：吉野（L） 高橋 小野里 河野 野村 福士 市村 阿部 8名

10月12日、元気確認ウォーキング⑫「金目川の清流と黄金色の稲穂、富士の遠望」を行いました。集合場所は平塚駅から北西方向へ約7kmの花菜ガーデン、申し合わせにより交通機関は使わず自転車や自家用車で集合。

「金目川の清流」「黄金色の稲穂」「富士の遠望」と見所いっぱいのウォーキング。10月12日開催で、「黄金色の稲穂」に違和感ありますが、これは当初開催予定日が9月7日、新型コロナウイルス感染拡大で9月15日へ延期、さらに再延期で10月12日に変更実施、タイトルは変更せずそのまま使ったためです。

あいにくの曇空で「富士の遠望」は望めませんでした、「金目川の清流」と金目親水公園で水辺の花々を楽しんで来ました。6月7日の「⑪大磯の運動公園&城山公園」以来4カ月ぶりの元気確認ウォーキング、マスク越しの会話が弾みました。

写真は、金目観音を見学して金目川右岸を上流へウォーキング、コース折り返し地点の土屋橋手前。晴れていれば前方に富士山が見えます。川幅広いのですが水の流が速く澄んで綺麗でした。



花菜ガーデンで4ヵ月ぶりの再会 公園でストレッチ&コース説明

集合場所の花菜ガーデンは、広大な敷地に花々が育てられていて、春と秋には多彩なバラの世界が楽しめます。ウォーキングクラブのコースで訪れたこともあります。敷地の一角の駐輪場にみなさん集合、4ヵ月ぶりの再会です。隣にはJAの「あさつゆ広場」があり、農家が出荷した地元の朝採り新鮮野菜や農家手作りの漬物などが購入できます。人気があり、この日も朝から駐車場は満車状態。近くには県立平塚養護学校があり、平塚駅からスクールバスが発着しています。公園に移動して、河野さんの「1日1回は深呼吸をしてくださいね～」の発声でストレッチ開始、リーダーの吉野さんがコース説明を行いました。



10時10分スタート～10時48分 坂東第七番札所金目山光明寺

10時10分スタートです。前日の暑さから一転涼しく感じる気温、それでも吉野さんと阿部さんは半袖姿。養護学校の前を通ると学校のまわりをウォーキング中の生徒が「こんにちは～」と元気よくあいさつしてきました。すぐに田園地帯へ、稲は刈られて干し藁風景が広がっていましたが、「黄金色の稲穂」が残っている田もありました。県道62号平塚秦野線に出て西方向へ進みます。吾妻橋を過ぎて歩道橋を渡り、金目川左岸沿いを上流へ。10時48分、坂東第七番札所金目山光明寺の金目観音に到着です。「金目川と観音堂」は、平塚八景に指定されている名所です。



金目観音～金目川富士景観狸久保～土屋橋～東海大学～金目親水公園

境内で小休止をして、門前で集合写真を撮る。金目川右岸を上流へ、金目川は、丹沢蓑毛峡谷の川に水無川が注ぎ、秦野市内を横切り平塚市の西部を流れて相模湾の河口まで約35kmの川です。土手には桜並木が多く、春には花見客で賑わいます。富士山の景観も良いところで、「富士景観狸久保」と案内柱が立っていましたが、あいにくの曇空で富士山は見えません。「狸久保は地名なの、それとも狸が出るの」「ここも平塚、初めて来た」などと話しながらウォーキング。折り返しの土屋橋を渡り左岸へ出て下流へ、東海大学正門前を通り、ブドウ園のところで小休止。民家の庭の柿やアサガオなどを愛で、12時5分に金目親水公園へ到着。



昼食タイム～12時45分スタート～水草ホテイアオイ～石橋の上で

東屋の下と点在するベンチに分かれて昼食、福士さんと河野さんの後姿、絵になり何とも言えません。12時45分に午後のスタート、湧水を利用した池へ出ます。小野里さんが、丸い浮袋のような水草を「ホテイアオイ」と教えてくれました。鮮やかな青い花はホテイアオイの花なのでしょうか、聞きもしました。石橋の上でみなさん何を見ているのでしょうか、野村さんの緑のシャツがきれいな水面に映し出されています。



色とりどりのコスモス～平塚秦野線～前河原橋～金目川右岸～入会勧め

水に親しむで「親水」、その名のとおり、水と花々に癒され心豊かになった気持ちです。白、ピンク、黄色のコスモスが咲き誇り、秋を感じる親水公園を後にしました。再び平塚秦野線に出て金目第2歩道橋を渡り、金目川の前河原橋を渡って右岸を下流へ進みます。ここで、女性が駆け寄ってきて「どこの歩くグループですか」と声を掛けてきました。聞けば最近平塚へ引っ越してきて、歩くグループをさがしていたとのこと。高橋さんが、ウォーキングクラブのパンフレットを渡して入会を勧めました。さて申し込みがありますか。



護岸工事現場～13時55分 あさつゆ広場 1万7000歩 12km

金目川右岸を進んで行くと、川底を掘り下げて、その土をキャタピラー付きのトラックで河岸へ積み上げ護岸工事をしていました。7月3日、活発な梅雨前線の影響で東海や関東を中心に非常に激しい雨が降り、熱海市伊豆山で長さ2km、最大幅160mの大規模な土石流が発生。平塚市も金目川周辺が氾濫して住宅浸水被害が発生、警戒レベル5の「緊急安全確保」を全国で初めて発令しました。この辺りが氾濫し、そのための護岸工事なののでしょうか。13時55分、あさつゆ広場に戻りました。1万7000歩、12kmのウォーキング。12回連続雨での中止なし、解散してから雨がぽつりぽつりと降りはじめました。



元気確認ウォーキング当面継続 次回は河野リーダーで12月13日

あさつゆ広場のベンチで今後のことについて話し合い。河野さんが「新型コロナウイルス感染も落ち着いてきました、今後どうしましょうか」と切り出し、みなさんから意見が出されました。「今後も継続して欲しい」「元気確認ウォーキングは楽しい」「平塚のいろいろを知ることができる、継続して欲しい」「コースづくりにみなさんが加わっていただけると良い」等々、「コロナ新感染者数減少してきたので一旦閉めたらどうでしょうか」との意見も出されましたが、当面継続することにしました。「元気確認ウォーキングで歩いたコースの湘南平ウォーキング、神奈川ウォーキングクラブのコースで計画したが雨とコロナで中止になった。11月にひらめきウォークで計画する」「次回元気確認ウォーキングは12月13日(月)、予備日は14日(火)、コースリーダーは河野さん」と決まりました。

今回思わぬ形で、一番上の孫が卒業した東海大学を訪れることができました。入学式・卒業式は、各学部とも平塚キャンパスで行うようで、海洋学部の孫も4年前に平塚で入学式を行いました。今春の卒業式はコロナ禍で学部ごとに、静岡市清水区の海洋学部キャンパスで行いました。コロナ禍、神奈川ウォーキングクラブもそうですが「いろいろなところに影響が出ている」を改めて感じました。(いちむら記)